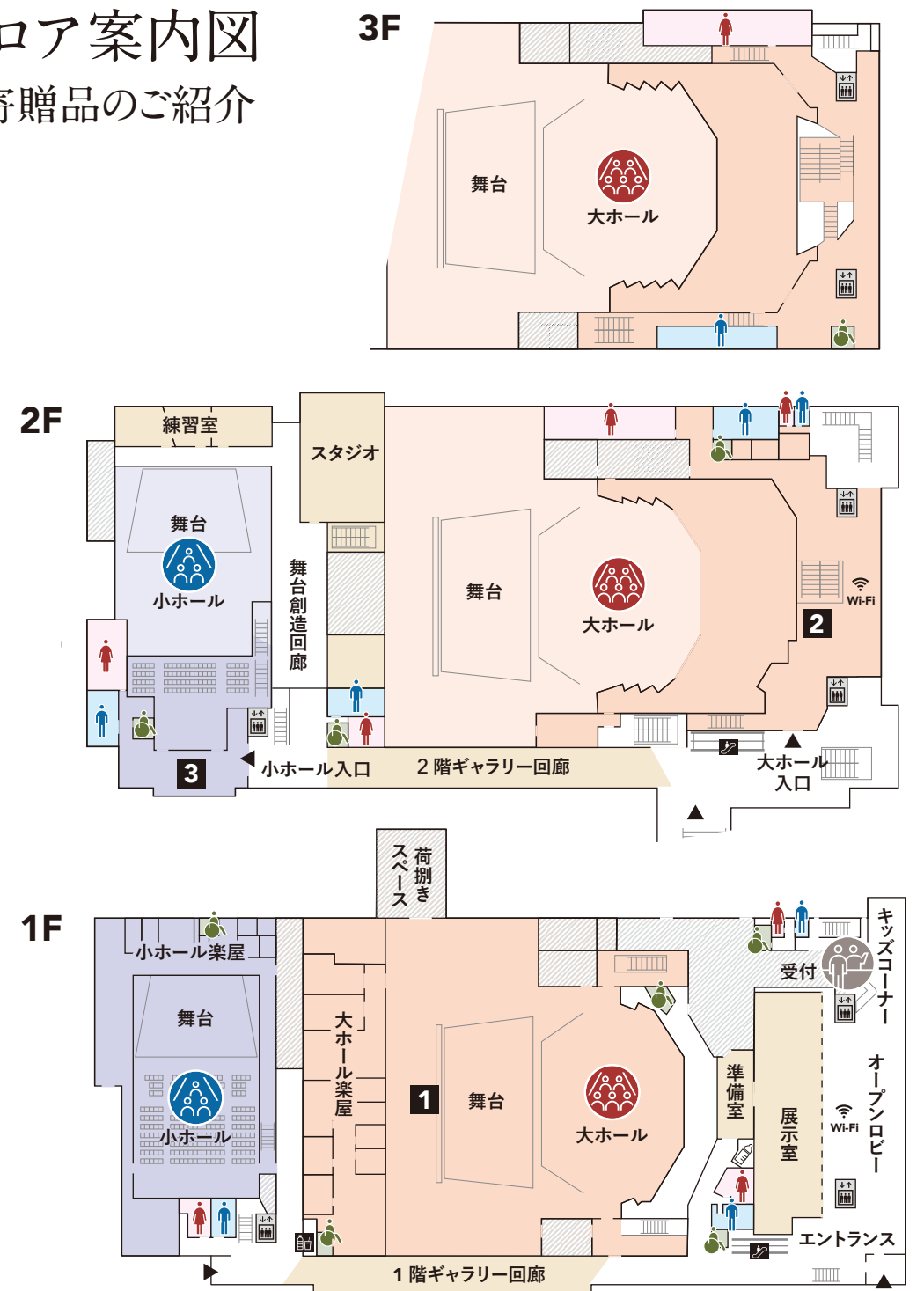


フロア案内図 ご寄贈品のご紹介



- 1 絨毯**
色彩は小田原の明るい未来、四季・自然を表し、海・山・川・空・風などを表現。無数の丸は、街の中で様々な生活、活動をする市民。また、海外から来日する各国の人々をイメージ。
デザイン: 芳澤一夫 (市内在住 日本画家)
制作: 川島織物セルコン
- 2 大ホールホワイエ絵画(共感)**
寄贈者の声かけて認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴルのメンバーが、「共感」をテーマに協力して制作。完成した9枚の作品の中から、設計者・ディレクターらが選んだ3枚を展示しています。
制作: 飯沼孝彦、太田 憲、小島裕平、小林じゅんの、清水 寛、鈴木友子、高橋 秀人、千舟、露木清高
監督: 芳澤一夫、露木清高
ディレクター: 中津川浩章
- 3 小ホール ホワイエアートワーク 千年物語 — 小田原の木**
1000年以上の歴史ある木工の産地である小田原の若い職人が集結、その技を未来に伝えていくべく、趣向を凝らしてつくられたレリーフです。
制作: 飯沼孝彦、太田 憲、小島裕平、小林じゅんの、清水 寛、鈴木友子、高橋 秀人、千舟、露木清高
監督: 芳澤一夫、露木清高
- 4 2本のヤマボウシ**
ヤマボウシは、100年以上の樹齢で優しい色の花を咲かせます。未来を担う子どもの健やかな成長を願う言葉が刻まれた石碑とともに、お堀端通り川の入り口に優しく佇み、お客様を出迎えます。



Information

小田原三の丸ホール
(正式名称: 小田原市民ホール)

[開館時間] 9:00~22:00
[休 館 日] 第1・第3月曜日(祝日の場合は、翌日以降の平日)
年末年始(12/29~1/3)
〒250-0012 神奈川県小田原市本町一丁目7番50号
Tel.0465-20-4152(代表) Fax.0465-24-5174
Mail hall-jigyo@city.odawara.kanagawa.jp

交通のご案内

電車 JR東海道新幹線/東海道本線/湘南新宿ライン/上野東京ライン・小田急電鉄小田原線・伊豆箱根鉄道 大雄山線・箱根登山鉄道
小田原駅 徒歩 13分

バス 箱根登山バス
めがね橋・幸町 徒歩 1分

お車 小田原厚木道路「荻窪IC」から 約10分
西湘バイパス「小田原IC」から 約 5分
東名高速道路「大井松田IC」から 約40分

駐車場について
主催者用・思いやり駐車場のみご利用いただけます。
※公共交通機関での来場にご協力いただくほか、周辺駐車場をご利用ください。
アクセスページはこちら

QRコード
@odwr3nomaruhall
WEBサイト: https://ooo-hall.jp/
WEBチケット

デザイン: デザインこねこ(株) 撮影: 株式会社エヌエス 鳥尾 望(※は除く) 発行: 小田原三の丸ホール 第2版: 2022年6月

小田原三の丸ホール

ODAWARA SANNOMARU HALL



出会いつながることで始まる

すべてのものは、出会うことから始まります。だから、人と会うことや、人と会う場所、人と会っている時間が、とても大切です。誰かと会って、その人と自分とのあいだに「関係」が生まれて、結ばれる…人生において行き交う大勢の人の中で、結ばれていく特別な縁。人と人との結びつきで大切なのは、お金でもなし、知識や教養でもありません。大切なのは、感性や感覚です。その感性や感覚を育むのには、本を読んだり、音楽を聴いたり、演劇を観たり、歌ったり、踊ったり、絵を描いたり、楽器を演奏したりすることが役立つのではないのでしょうか。

小田原三の丸ホールは、そういうことが起こる、とびっきりの居心地の良い場所にあることを目指しています。

小田原三の丸ホール館長 大石時雄

まちとつながる文化芸術の空間

小田原三の丸ホールは、小田原城を中心としたまちづくりの拠点として、お堀端通りと国道一号をつなぐ東西道路を挟み、劇場とにぎわい廊により構成されています。

劇場の1階オープンロビーはお堀端通りに接し、まちと展示スペースが一体化しています。劇場の2、3階ホワイエより見る小田原城の景観は特別に素晴らしいものです。また大ホールは舞台の近さと音響の良さが来場者を魅了することでしょう。舞台創造回廊は楽屋、練習場や小ホールと共有され、市民と共に多様な舞台をつくり上げられる場になります。大ホールと小ホールをつなぐ1、2階のギャラリー回廊では、市民の芸術文化活動の成果がいつも掲げられることを想定しています。にぎわい廊(小田原市観光交流センター)はお城と劇場をつなぐ外部のにぎわい空間であり、カフェと観光案内所と階段状のテラスから噴水やイベントを楽しめます。

新たな小田原の文化シーンが多くの人々の心に刻まれることを期待して、設計しました。

Profile 環境建築家、1941年、横浜生まれ。東工大卒、工学博士。1968年、環境デザイン研究所を設立。現在、会長。こども環境学会代表理事、東工大名誉教授、日本建築学会会長、日本建築家協会会長、日本芸術家協会会長等を経て、小田原市ではこのほか、鈴鹿まほこ博物館の設計・監理を担当。

設計者 仙田 満

愛称「小田原三の丸ホール」について

小田原らしく親しみやすい愛称を募集し、439件の応募があった中から審査の結果、決定。小田原市は城下町として栄え、その象徴である小田原城の三の丸地区に位置することから、名付けられました。

名付け親: 山上正昭(やまがみ まさあき)さん(市内在住)

シンボルマーク・ロゴマークについて

[シンボルマーク]…(人と人を結ぶ、小田原と世界を結ぶ)より、「結(ゆい)」の文字の歴史的な書体と、愛称である(小田原三の丸ホール)にある3つの丸を取り入れたデザインです。

[ロゴマーク]…3つの丸に(芸術=創作意欲・情熱の赤色)(歴史=伝統的な色彩の金色)(新しいコミュニティの創造=小田原市の青色)を配し、筆の質感に合わせた和文/英字のロゴタイプ(文字を圖案化したもの)をオリジナルで制作し、小田原の新しい文化・芸術拠点になることを表現。

書: 永井香峰(ながい こうほう)さん(小田原書道連盟 副会長)
デザイン: デザインこねこ(株) 公式WEBサイト: https://designkoneko.com

施設ご利用の流れ 施設のご利用をご希望のお客様は、「窓口」または「施設予約サイト」空き状況の確認の上お申込みください。初めてのご利用のお客様は、「利用者登録」が必要です。下記のステップをご確認ください。

	12か月前	11か月前	6か月前	5か月前	2か月前	ご利用日
大ホール						ご利用日
小ホール						
展示室	抽選申込(窓口)	先着順申込(窓口)			打合せ	
ギャラリー回廊						
スタジオ						
練習室			抽選申込(WEB可)	先着順申込(WEB可)		

ステップ1 利用者登録を行う
施設のご利用には必ず「利用者登録」が必要です。身分証をご持参の上、窓口へお越しください。
※利用説明を行います(30分程度)。

ステップ2 使用利用のお申込み
空き状況を確認後、抽選か先着順での書類提出もしくは、WEB申請を行ってください。

ステップ3 本申請とお支払い
利用施設・日時の決定後、窓口にて「施設使用申請書」の提出と施設使用料をお支払いください。利用当日に必要な「使用許可書」を発行します。
※詳しくはお問い合わせいただくか、WEBサイトをご覧ください。

施設予約サイト



舞台、展示、練習など
様々な用途に対応するよう設計された小ホール



壁面は、のこぎり型に成形され、音の響きを良くしているほか、展示パネルを取り付けられるようになっており、利用者の発想で空間を多様にデザインしていただけます。平土間形式時の有効床長さは20mと、大ホールの舞台面を想定した練習も可能です。爽やかでスタイリッシュな演出も映える寒色がテーマカラーです。



平土間形式（ロールバックチェア・可動席なし）



幕形式



展示パネル利用時

■小ホール 入口2階東側

【舞台形式】音響反射板形式・幕形式・平土間形式
【舞台寸法】間口14.2m×奥行8.5m×高9m
【バトン数】4本
【客席数】296席（うち車いす席6席）※移動型客席（ロールバックチェア）151席、可動席54席、固定席85席
【楽屋】3部屋

楽屋	面積	鏡前
楽屋G	11㎡	3人
楽屋H	9㎡	3人
楽屋I	20㎡	8人

さまざまな文化芸術を支える空間と設備が充実
小田原散策の休憩に立寄っていただけるフリースペースも



パネル配置や複数に区切った使用など、フレキシブルな利用が可能です。ピクチャーレールによる壁面への展示はもちろん、台座などを使った立体物を展示することもできます。展示有効高4mで、白を基調とした空間のため、大きな作品が映えます。

【貸出面積】231㎡（全面）最大4分割にして貸出可能
【固定壁面】上段：展示高4m、耐荷重：70kg
下段：展示高3m、耐荷重：20kg
【可動式壁面】上段：4m、下段：3m、耐荷重（上段・下段とも）：70kg
※ライティングレールあり



仕切りを設けることで様々なブース展開が可能です。



オーピンロビーを区切った展示空間にもなります。



小さいお子さまが、遊ながら音のおもちゃを楽しんでいただくコーナー。



オープンロビー

お堀端通り沿いの芝生をのぞむ、広々としたオープンスペース。休憩や待ち合わせ場所としてご利用ください。



大ホールの利用のない時にお入りいただける、フリーWi-Fi・コンセントを完備した空間です。



街のシンボルである小田原城の正規登城ルートが一望できます。



ギャラリー回廊は、大ホールと小ホールとを繋ぐメイン動線に位置する、ピクチャーレールが設置された壁面の展示スペースです。お堀端通りと国道1号線を繋ぐ屋外通路と並行したオープンスペースですので、気軽にアート作品をお楽しみいただくことができます。

【貸出長さ】1階：38.5m 2階：42.7m
【貸出面積】1階：122㎡ 2階：155㎡
【貸出壁面】1階（窓側）長さ：3m×5 高さ：3.5m（壁側）長さ：23.5m 高さ 3.5m
2階（窓側）長さ：3m×5 高さ：2.5m（壁側）長さ：27.7m 高さ 3.5m
耐荷重：50kg
※ライティングレールあり



ホール施設と練習室施設とを繋ぐ回廊では、近隣のアート情報を入手していただけます。



防音設備が整った、鏡を有した空間。音楽やダンスの練習、リハーサルはもちろん、本番公演でのご利用も可能です。カーテンで2つの空間に仕切ることのできるため、控室としての利用も考えられます。
【床面積】77㎡
【楽器】カワイグランドピアノ RX-1（石井敬氏遺贈）
【備品】机15台・イス30脚



練習室A 13㎡
※アップライトピアノ（ペーゼンドルファー・寄贈品）



練習室B 10㎡
練習室C 15㎡
※ドラムセット（YAMAHA）、ギターアンプ（marshall）、ベースアンプ（EDEN）、キーボード（Roland Juno）、ほか

■バリアフリーへの取り組み

様々な方に配慮した設計とサービスを行っております。車いす席設置、ヒアリンググループ貸出（公演による）、筆談のほか、お子さま連れの場合でもご利用いただきやすい空間がございます。

■建物概要

【敷地面積】9,820.25㎡
【延床面積】8,909.09㎡
（三の丸ホール部分：8,466.48㎡、観光交流センター：442.6㎡）
【階数】地下：1階 地上：4階
【構造】鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
【建築】高さ：29.76m
【設計・監理】環境デザイン研究所
【施工】鹿島建設

2階席の最後列まで
美しく音が届くように設計された大ホール



壁面の音響底は小田原産の木により音をまろやかに。また、職人の手作業によって施されたタイルが、ランダムな角度で客席に音を届けます。異素材を合わせることで、客席に豊かな音色をお届けすることができます。映像は、バック投影方法を採用。照明等のハレーションを気にすることなく、大画面でお楽しみいただけます。間接照明も様々な色温度のパターンを選択可能です。暖かい色でデザインされ、ゆったりとした気持ちで催し物をお楽しみいただけます。

■大ホール 基本入口2階西側

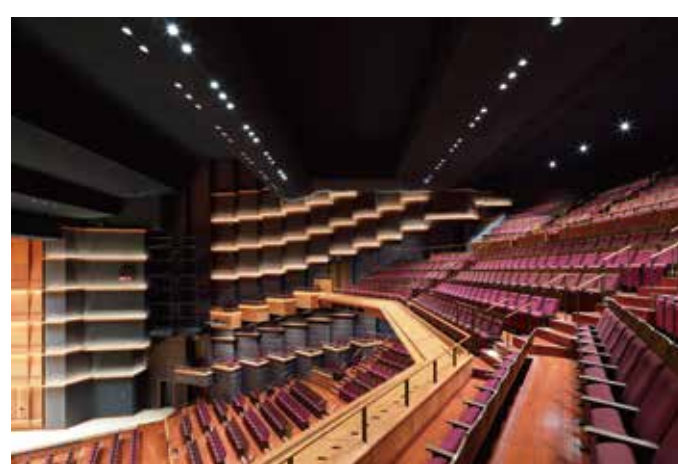
【舞台形式】音響反射板形式・幕形式・オーケストラピット仕様・張り出し舞台仕様
【舞台寸法】間口18.9m×奥行16.5m×高12m
【バトン数】13本
【客席数】1,105席（うち車いす席6席、親子室6席）
1階席686席（うち車いす席4席）
※オーケストラピット104席分
2階席419席（うち車いす席2席）

【楽屋】6部屋 ※このほか、荷置きスペースを楽屋として使用することも可能

楽屋 面積 鏡前

楽屋A*	20㎡	3人
楽屋B	15㎡	3人
楽屋C	11㎡	3人
楽屋D	24㎡	10人
楽屋E	30㎡	12人
楽屋F	29㎡	12人

*トイレ・シャワー付き



広々としながら舞台との一体感のある客席



縦横利用時

